

「ミズベリング札幌スタートアップ会議」レポート

2015年3月6日 22:37

ついに札幌の水辺が動き出しました。北海道で初のミズベリング会議、その名も「ミズベリング札幌スタートアップ会議」は、2015年3月1日（日）、「さっぽろテレビ塔」で開催されました。

第1部は一般参加を募り、ミズベリングとは何かを知ってもらい、5名のスピーカーからの水辺のアイデアトークを聞くというもの。第2部は、参加者を絞ってのワークショップで、今後の方向性を検討するというもの。

ミズベリング5つのアクションの中の「つなごう」「かたろう」が実現できた、貴重な1日となりました。では、さっそく振り返ってみます。このレポで、行けなかった人も行った気にならしましょう。

【第1部：スタートアップ会議】

会場はまちの真ん中、「さっぽろテレビ塔」。創成川を見下ろすことのできる部屋で開催しました。



そして、本日のゲストスピーカーのひとり、「寿珈琲」の柴田さんからは、美味しいコーヒーが振る舞われました。すごい！部屋がほんのりコーヒーの香りに彩られ、やっぱりミズベリングにはコーヒーがよく似合う、そう実感しながら、ミズベリング会議スタートです。



まずは、ミズベリングとはそもそも何であるのか、東京を拠点にミズベリング・プロジェクトを推進する2人のスペシャルゲストに教えてもらいました。なにせ、ミズベリングは札幌初上陸なんですから。



国土交通省の課長補佐であり、ミズベリング・プロジェクトのアドバイザーでもある田中里佳さんからは、国内外の素敵な水辺の写真を交えて話をしてもらいました。水辺の価値を再認識して、水辺が豊かになることの素晴らしさを知り、一歩踏み出す勇気を与えてくれる説明でした。

ミズベリング・プロジェクトのディレクター、真田武幸さんからは、ミズベリングの全国への広がり
と、各地で活躍する"はみ出し者"のミズベリーガーのご紹介。1年前に東京で始まったミズベリング、既
に国内のあちこちで水辺が動いているようで、それぞれエネルギッシュな"はみ出し者"が引っ張っている
ようです。さあ、札幌の水辺を動かすのは誰か。それは、あなたです、というのがお二人からの大事な教
え。



(既に札幌の水辺を動かし始めている人と、これから動かす人たち)

いよいよ水辺のアイデアトーク。最初のゲストスピーカーは、**「NPO法人ポロクル事務局」の三上貴史
さんと、「ポロクルクルー」の齋藤大樹さん。**

ポロクルは、"サイクルシェア"する登録制レンタサイクル。札幌のよりよいまちづくりに貢献する取り組
みを、カッコいい動画を交えて紹介してくれました。また、ポロクルの運営には、若者が環境分野をは
じめとする様々な活動を行う「NPO法人 ezorock」が深く関わっており、若いエネルギーもたっぷりで
す。川と親和性の高い自転車、これから期待できそうですね。



続いてのスピーカーは、「NPO法人モエレ沼公園の活用を考える会」の武市毅さん。

水辺での環境再生と創造というテーマで、モエレ沼公園の話をしてくださいました。大きな水面があることがモエレ沼公園の最大の魅力というイサム・ノグチ氏の考えに沿って、公園整備が進められたそうです。その結果、水面が最も美しく見えるよう計画されたガラスのピラミッドをはじめ、海の噴水、モエレビーチ、アクアプラザなど、水が活かされた公園になったそうです。

それと、モエレ・ファン・クラブの紹介もありましたよ。



3番目は、「手稲さと川探検隊」局長の鈴木玲さん。

札幌市の西の方に位置する手稲の水辺で、市民や子どもに自然体験に参加してもらう活動を10年以上行っているそうです。川の生き物探しや川遊びなどを中心に、幅広いメニューを展開しており、その様子を動画で紹介してくれました。この動画がすごくて、見ているだけで自然に笑顔がこぼれてくる、大人も子どももワクワクがとまらない、そんな感覚。札幌の水辺って面白い、そう思わせてくれました。



アイデアトーク前半戦が終わったところで、ミズベリング札幌チーム"チーフ"の須賀可人から、札幌チームの活動展開のコンセプトをご紹介します。

せっかくだからということで、1月に東京で開催された「MIZBERING INSPIRE FORUM 2015」(MIF)で紹介された中身に触れながらのお話です。ちなみに、MIFとは、優れたまちづくりで知られるポートランド(アメリカ・オレゴン州)のまちづくりとミズベリングがコラボレーションしたイベントで、水辺を活かしたまちづくりの発想を参加者にたくさん植えつけてくれました。ポートランドは札幌市の姉妹都市。札幌でミズベリングを始めるのに、MIFの教えを活用しない手はありません。ちなみに、東京からのゲスト、**岩本さん・真田さん・田中さん**は、MIFで大活躍した3人。一緒にポートランドの紹介をしてもらいました。



さらに、MIFで中心にいた人物、PDC（ポートランド開発局）で活躍する"まちづくりのサムライ"、**山崎満広さん**が、動画でサプライズ出演。「GO!」してくれました。ありがとうございます。加えて、今回は都合がつかずに札幌へ来られなかったミズベリングの大御所、**藤井政人さん**にも写真で登場してもらいました、「川ろうぜ」ってね。



札幌チームは、まずはイベントを継続的に展開し、参加することで人がつながりアイデアが語られる場を作っていきます。そして、みんなが自分たちのアイデアで街と水辺をより良くしていけるという意識を持って参加できる土壌をつくり、まちと水辺への愛を深めてもらう、そんなコンセプトでスタートします。だから、札幌チームのミズベリストたちは、みんな春が待ち遠しいのです。

さて、アイデアトーク後半戦です。スピーカーは創成川の近くで「**寿珈琲**」を経営する**柴田寿治さん**。すでに参加者は美味しいコーヒーを味わって、ミズベリングにコーヒーが不可欠ことを実感していますが、改めて川の近くでカフェ店主をしている柴田さんから、「水辺にはやっぱりコーヒー」の話をしてもらいました。みんな納得ですよ。この他、crage（クラゲ）という、まちのクラウドファンダや、イベントとの関わりも。

お話の後、会議の司会進行を努めた**ミズベリング札幌チームの金山敏憲**から質問も。すると、「創成川東ブレンド」が飲みたい方はこっそり頼んで欲しいこと、コーヒー以外のメニューもあるけどやっぱりコーヒーを味わって欲しいことなどが明らかになりました（笑）。

あと、宣伝しますよ。**みなさん、ぜひ札幌初のミズベリング・カフェ「寿珈琲」へ！**

全国の水辺好きなみなさんも、**札幌へご訪問の際には、「寿珈琲」は外せませんよ！**
ホントにおすすめなんだから。



さあ、いよいよ最後のスピーカーです。**ミズベリング・プロジェクトのディレクターとして活躍する岩本唯史さん。**

海外の水辺の紹介や、国内での事例から始まり、ミズベリング万世橋会議で飛び出したものを交えながら、意外性に溢れながらも、本当に実現できそうなアイデアをたくさん紹介してくれました。例えば「海の家」ならぬ「川の家」で映画の投影をしたりとか、水辺のシェアオフィスにしてみたりとか、水面へのアクセスができるようなビルを考えてみたりとか。なぜこれらが実現できそうだと思えたかというと、ちゃんと河川の形状や周辺の建物などの現状を踏まえているから。さすがというトークで、みんなのアタマを柔らかくしてくれました。

そして、普段の活動拠点である横浜の「水辺荘」についても。小さなスペースを借りているだけでも、そこを拠点にSUPを楽しむメンバーが集まっており、その活動範囲は川をつなげば数万平米だそうです。そんな楽しい活動の楽しそうな側面だけでなく、地縁型のコミュニティとテーマ型のコミュニティを掛け合わせるものの可能性などを示してくれました。

水辺からまちを元気にする、そんなポテンシャルが参加者の心に届いたことでしょう。



さてさて、こんな感じで水辺の可能性をみんなでシェアして、これから札幌の水辺に繰り出そう、そう思えるスタートアップ会議でしたが、解散の前に、やっぱりコレだけは欠かせません。みんなで元気に、「MIZBERING GO!」、ガッチリ心がひとつになりました！



【第2部：ワークショップ】

昼食を挟んで、こんどはみんなで色々考えるワークショップです。

場所も移動して、札幌東武ホテル1階の「b's Kafe」さん。北欧な雰囲気のもっとも素敵なカフェです。美味しい飲み物を片手に、4~5人ずつテーブルに分かれ、自分の立場から、あるいは自由な発想のもと、活発な意見が交わされました。

ちなみにワークショップには、札幌チーム立ち上げメンバーの他に、東京からのゲスト3人や、学生さんなどにも参加してもらいました。



テーブルごとに、どんな水辺にしていきたいか、水辺をどう活用したいか、さらには水辺をどう捉えるのか、いろんな観点からの話が飛び出し、アイデアのかけ算が続いていきました。この刺激を各メンバーが持ち帰り、これからの活動を企画していきます。なかなか期待できそうです。具体的には、請うご期待！

ちなみにこちらのカフェ、雰囲気が良いことと、飲み物が美味しいことに加え、ケーキも最高です。おかげでみんなのアイデアもぐんぐん加速！会場のチョイスが抜群でしたね。



色々なアイデアを出し切った後は、本日2度目の「MIZBERING GO!」。ミズベリング・ブルーの前でパワフルに決まりました！みんなホントにありがとう！

